



5 YC新川崎(神奈川県川崎市)

YC店舗近隣のアパートが火事となる。現場に駆けつけたところ、逃げ遅れた高齢者住人がいたため、アパートに飛び込んだ。同僚との連携プレーで、消防車到着前に住人を無事救助した。

— 3月3日

6 YC塩尻(長野県塩尻市)

集金業務中に火災を発見。消防署に通報するとともに消火作業に協力して延焼を食い止める。

— 5月27日

7 YC早稲田小石川(東京都文京区)

日中業務中、炎天下で路上に倒れ込んだ女性を発見。脱水症状があったため、コンビニで冷たい飲み物を買って女性を介抱。その後、YCの軽ワゴン車で自宅まで送り届ける。女性の家族から、「早期の対応により事なきを得た」と感謝の報告がYC所長にもたらされた。

— 7月7日

8 YC福島(大崎市福島区)

配達員から「新聞がたまったままの家がある」との報告を受けていたスタッフは、その住人が70歳代男性の一人住まいであることを覚えていた。この日は35度超の猛暑日であったことから、スタッフはその住居まで急行。室内で倒れていた男性を発見して119番し、男性は命を取り留めた。

— 7月26日

9 YC太子堂(大阪府八尾市)

店長スタッフが朝刊配達途中、路上で空き缶などが燃えているのを発見し、近くにあった消火用バケツを使って消火した。脇にあった可燃物に入ったゴミ箱への延焼を未然に防いだことで、八尾消防署から感謝状が贈られた。

— 8月4日

10 YC小笹(福岡市城南区)

夕刊配達中、高齢男性読者宅の新聞が数日分たまっていることを不審に思ったスタッフがインターホンを押したが、無反応。玄関近くに書かれていた緊急連絡先をメモし、所長に報告。所長から「明日新聞がたまっていたら連絡するよう

11 YC茗荷谷駕籠町(東京都文京区)

朝刊の配達途中、マンションのベランダから「知らない人が部屋にいる」という叫び声を聞きつけ、駆けつけてみると女性が必死に助けを求めている。女性の了解のもと、直ちに部屋に入り、女性を無事保護。犯罪被害を未然に防いだ。

— 10月1日

12 YC厚木西部(神奈川県厚木市)

夕刊配達途中、路上で倒れていた女性を発見。その様子から緊急事態と判断して救急車を手配した。女性は心筋梗塞発作を起こしており、迅速な対応が貴重な生命を救うことになった。

— 11月2日

に」と指示された。翌朝、やはり新聞がたまっていたためメモした電話番号に連絡。緊急連絡先は島根県在住の親族で、島根県警、福岡県警へと連絡が入った。駆けつけた警察官が部屋に入ると、男性がソファで倒れており、直ちに病院へ搬送され、一命を取り留めた。

— 8月19日